

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	組織改革	退職職員の臨時任用							
事業着手前									
課題・現状	本町では、平成22年度までを計画年度とした「定員適正化計画」に基づく、計画的な定員管理に取り組み、計画の一定の達成をみたところであるが、今後においても、厳しい行財政状況の中、最小の経費で最大の効果を挙げるために、行政のスリム化を図り、事務事業の整理、組織の合理化、積極的な民間委託の推進等に取り組み、定員管理の適正化に努める必要がある。								
事業概要	本町では、平成22年度までを計画年度とした「定員適正化計画」に基づく、計画的な定員管理に取り組み、計画の一定の達成をみたところであるが、今後においても、厳しい行財政状況の中、最小の経費で最大の効果を挙げるために、行政のスリム化を図り、事務事業の整理、組織の合理化、積極的な民間委託の推進等に取り組み、定員管理の適正化に努める必要がある。 そのため、早期退職を勧める勧奨退職制度の活用等により、計画的な職員数の抑制を図ってきたところであるが、その一方で、職員数が大きく減少したことによる行政サービスの低下が危惧されているところである。 そこで、行政サービスの低下への対策として、勧奨退職制度による退職職員を臨時職員として再任用し、経験と知識の有効活用を図り、行政サービスの水準維持と職員数抑制の両立を図るものである。								
期待される事業効果等	退職職員再任用事業の実施により、臨時職員の配置等による組織の見直しを行い、行政サービスの水準を低下させることなく計画的な職員数の抑制と定員管理の適正化を図り、歳出の多くを占める人件費の割合を減少させることができる。 人件費の抑制により、効率的な行財政運営を実現し、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。								
事業実績									
取組状況	勧奨退職制度による退職職員を臨時職員として再任用し、経験と知識の有効活用、行政サービスの水準維持と職員数抑制の両立を図った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	平成23年度再任用者 8名 平成23年度再任用者臨時雇用賃金 9,957千円 平成23年度人件費(総額) 1,553,240千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)			行政サービスの水準を低下させることなく、職員数及び人件費を抑制することができたため。				
計画数値の内容	人件費(臨時雇用賃金)								
年度	23	-	-	-	-	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	26,008								
本事業の実績額(b)	9,957								
行革効果(a)-(b)	16,051								

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	町有施設空調機器修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から早期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。</p> <p>町有施設の空調機器については、厳しい財政事情から早期の更新はできず、耐用年数を超えて長期間に渡り使用せざるを得ない状況であり、老朽化による故障等が頻発しているが、近年の猛暑や厳冬においては、施設機能の維持のために必要不可欠な設備であり、施設利用者等から早急な改善が要望されているところである。</p> <p>また、近年、低炭素社会や省電力社会が推進されており、電力消費の激しい旧式の設備を最新設備に更新することにより、低炭素化と省電力化を図り、併せて電気代等のランニングコストの低減を図ることが期待されているところである。</p>								
事業概要	<p>故障した町有施設の空調機器の修繕を行い、施設機能の維持を図る。</p> <p>併せて、老朽化した設備を最新の省電力機器に更新することにより、ランニングコストの軽減を図る。</p> <p>今回修繕を行う施設はいずれも、住民への窓口や保育所、各種社会教育等行事の会場等として、常時使用する必要がある町の主要施設であり、多数の住民が来庁・来館するため、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p>								
期待される事業効果等	<p>空調機器の修繕により施設機能の維持と耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化の実現により更新費用の削減と平準化を図ることができる。</p> <p>併せて、老朽化した空調設備等を最新の省電力機器に更新することにより、ランニングコストの軽減を図ることができる。</p> <p>また、来庁・来館者が快適に施設を利用することができるようになることで施設利用者の増加が期待され、子育て環境の向上や社会教育事業の活発化により、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>								
事業実績									
取組状況	<p>故障した町有施設の空調機器の修繕を行い、施設機能の維持を図る。</p> <p>併せて、老朽化した設備を最新の省電力機器に更新することにより、ランニングコストの軽減を図る。</p>								
主な実績数値 (出来高数値等)	<p>施設名 京丹波町役場(町長室・議場・事務室・旧用務員室)・保育所・保健福祉センター・山村開発センター・中央公民館・和知ふれあいセンター</p> <p>実績額 8,951千円</p>								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)			<p>故障した町有施設の空調機器の修繕により、施設機能の維持を図ることができたため。</p> <p>併せて、最新の省電力機器の導入により、ランニングコストの軽減が見込まれる。</p>				
計画数値の内容	施設修繕経費及びランニングコスト((b)欄には事業実績額にランニングコストを加算している。)								
年度	23	24	25	26	27	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	1,195	300	300	300	11,936				
本事業の実績額(b)	9,251	150	150	150	150				
行革効果(a)-(b)	▲ 8,056	150	150	150	11,786				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目						
小規模市町村支援	投資改革	道路橋梁維持管理事業						
事業着手前								
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から早期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。</p> <p>町道は、住民の最も身近な生活道路であり、子供や高齢者等が通行することも多いため、安心・安全に利用できる機能を維持する必要があるが、舗装や付帯する構造物が損傷している箇所が多数存在しており、厳しい財政事情からその全てに対応することができず、住民からの要望も絶えることがない状況である。</p> <p>現在は、各区等からの要望箇所について、危険性、緊急性等勘案しながら、優先順位を決めて順次修繕を実施しているが、早急な改善が望まれているところである。</p>							
事業概要	<p>町道において、舗装や付帯する構造物が損傷している箇所が多数存在しており、住民からの要望も絶えることがない状況である。各区等からの要望箇所について、危険性、緊急性等勘案しながら、優先順位を決めて順次修繕を実施する。</p>							
期待される事業効果等	<p>町道は、住民の最も身近な生活道路であり、子供や高齢者等が通行することも多いため、安心・安全に利用できる機能を維持する必要があるが、舗装や付帯する構造物が損傷している箇所が多く存在しており、厳しい財政事情からその全てに対応することができず、住民からの要望も絶えることがない状況である。</p> <p>危険性、緊急性等勘案し、優先順位を決めて順次修繕を実施することにより、事故を未然に防止し、安全安心な生活道路としての機能を維持することができる。</p> <p>併せて、できるだけ早期に修繕することにより、老朽化の進行を防止し、施設の長寿命化を図り、修繕費等の維持経費の軽減につなげることができる。</p> <p>また、交通環境が向上することで、通学等の子育て環境の向上や地域交流の活性化が図られ、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>							
事業実績								
取組状況	町道の舗装や付帯する構造物が損傷している箇所について、危険性、緊急性等勘案しながら、優先順位を決めて順次修繕を実施した。							
主な実績数値 (出来高数値等)	事業箇所数 町道53箇所 実績額 12,724千円							
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)		修繕により、施設機能の維持・向上を図ることができたため。併せて、老朽化の進行を防止し、維持経費の軽減につなげることができるものと見込まれる。				
計画数値の内容	施設維持修繕経費							
年度	23	24	25	26	27	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	0	0	5,514	5,514	5,514			
本事業の実績額(b)	12,724	0	0	0	0			
行革効果(a)-(b)	▲ 12,724	0	5,514	5,514	5,514			

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	和知支所屋根修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から中期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。和知支所については、旧和知町役場として昭和54年に建築され、以来33年間に渡り利用されてきたものである。現在は和知地区住民の身近な窓口として、また教育委員会が設置され、本町教育行政の拠点として利用されているが、今後においては、平成24年度に開校される京都府林業大学校の教室としても利用されることとなっており、本施設の重要性はますます増大する傾向にあり、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>しかしながら、和知支所の屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、早急な対応が望まれている。</p>								
事業概要	<p>和知支所の屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況である。これを放置すれば屋根以外の部分についても損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕(シート防水加工工事)を行うものである。</p>								
期待される事業効果等	<p>和知支所は、和知地区住民の身近な窓口や本町教育行政の拠点、京都府林業大学校の教室として今後ますますの利用が見込まれ、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>今回の修繕により、屋根の雨漏り等を解消し、施設機能の維持・向上を図ることができる。</p> <p>併せて、できるだけ早期に修繕することにより、老朽化の進行を防止し、施設の長寿命化を図り、修繕費等の維持経費の軽減につなげることができるものである。</p> <p>また、来庁者が快適に施設を利用することができるようになることで施設利用者の増加が期待され、和知地区の地域活性化や、林業大学校の成功により、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>								
事業実績									
取組状況	和知支所の屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、これを放置すれば屋根以外の部分についても損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕(シート防水加工工事)を行った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	実績額 5,075千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)		修繕により、施設機能の維持・向上を図ることができたため。併せて、老朽化の進行を防止し、維持経費の軽減につなげることができるものと見込まれる。					
計画数値の内容	施設維持修繕経費								
年度	23	24	25	26	27	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	0	0	0	0	7,613				
本事業の実績額(b)	5,075	0	0	0	0				
行革効果(a)-(b)	▲ 5,075	0	0	0	7,613				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	丹波生涯学習センター屋根修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から早期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。</p> <p>丹波生涯学習センターについては、昭和49年に建築され、以来38年間に渡り利用されてきたものである。</p> <p>現在は、子育て支援センター、シルバー人材センター事務所、国際交流事業の会場等として常時利用され、多数の来館者があり、また緊急時の避難所としても指定されているため、来館者の安全確保のために、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>しかしながら、丹波生涯学習センターの屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、早急な対応が望まれている。</p>								
事業概要	<p>丹波生涯学習センターの屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、早急な対応が望まれている状況である。</p> <p>また、これを放置すれば屋根以外の部分についても損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕を行うものである。</p>								
期待される事業効果等	<p>丹波生涯学習センターは、子育て支援センター、シルバー人材センター事務所、国際交流事業の会場として今後ますますの利用が見込まれ、また、緊急時の避難所であるため、災害時の避難者の安全を確保する必要もあり、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>今回の修繕により、屋根の雨漏り等を解消し、施設機能の維持・向上を図ることができる。</p> <p>併せて、できるだけ早期に修繕することにより、老朽化の進行を防止し、施設の長寿命化を図り、修繕費等の維持経費の軽減につなげることができるものである。</p> <p>また、来庁者が快適に施設を利用することができるようになることで施設利用者の増加が期待され、子育て環境の向上や高齢者福祉の向上、国際交流の活発化、災害に強いまちづくりを図ることにより、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>								
事業実績									
取組状況	丹波生涯学習センターの屋根については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、これを放置すれば屋根以外の部分についても損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕を行った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	実績額 391千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)							
		修繕により、施設機能の維持・向上を図ることができたため。併せて、老朽化の進行を防止し、維持経費の軽減につなげることができるものと見込まれる。							
計画数値の内容	施設維持修繕経費								
年度	23	24	25	26	27	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	0	0	0	0	587				
本事業の実績額(b)	391	0	0	0	0				
行革効果(a)-(b)	▲ 391	0	0	0	587				

(記載要領)

1 事業毎に調書を作成すること

2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について

【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	中学校連絡通路修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から早期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。</p> <p>和知中学校については、昭和47年に建築され、以来40年間に渡り利用されてきた施設である。</p> <p>グラウンド連絡通路についても同時期に建築され、生徒が日常的に校舎とグラウンド等との行き来に利用している利用頻度の高い施設であり、生徒の安全確保の観点から、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>しかしながら、連絡通路の柱や梁は経年劣化による老朽化が進行しており、使用に支障が出つつある状況であり、生徒の安全を確保する観点から早急な対応が望まれているところである。</p>								
事業概要	<p>和知中学校のグラウンド連絡通路の柱や梁は経年劣化による老朽化が進行しており、使用に支障が出つつある状況であり、生徒の安全を確保する観点から早急な対応が望まれているところである。</p> <p>また、これを放置すれば修繕が不可能な状況まで損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕と塗装を行うものとする。</p>								
期待される事業効果等	<p>和知中学校のグラウンド連絡通路は、生徒が日常的に校舎とグラウンド等との行き来に利用している利用頻度の高い施設であり、生徒の安全確保の観点から、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>しかしながら、柱や梁は経年劣化による老朽化が進行しており、使用に支障が出つつある状況であり、生徒の安全を確保する観点から早急な対応が望まれているところである。</p> <p>今回の修繕により、生徒の安全を確保し、施設機能の維持・向上を図ることができる。</p> <p>併せて、できるだけ早期に修繕し塗装を行うことで、老朽化の進行を防止し、施設の長寿命化を図り、修繕費等の維持経費の軽減につなげることができるものである。</p> <p>また、中学校施設の充実を図ることにより、教育環境が向上し、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>								
事業実績									
取組状況	和知中学校のグラウンド連絡通路の柱や梁については経年劣化による老朽化が進行しており、雨漏り等もあり、使用に支障が出つつある状況であり、これを放置すれば修繕が不可能な状況まで損耗が進行する恐れがあるため、早急に修繕を行うものである。								
主な実績数値 (出来高数値等)	実績額 477千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)		修繕により、施設機能の維持・向上を図ることができたため。併せて、老朽化の進行を防止し、維持経費の軽減につなげることができるものと見込まれる。					
計画数値の内容	施設維持修繕経費								
年度	23	24	25	26	27	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	0	0	0	0	716				
本事業の実績額(b)	477	0	0	0	0				
行革効果(a)-(b)	▲ 477	0	0	0	716				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目							
小規模市町村支援	投資改革	中央公民館駐車場舗装修繕事業							
事業着手前									
課題・現状	<p>本町の公共施設は、老朽化が進行し漏水・雨漏り等使用に支障をきたすものが多数存在する状況であるが、厳しい財政事情から早期の更新は困難な状況にある。順次修繕を実施することにより、耐久性の向上や経年劣化の軽減等を図り、長寿命化を実現し、更新費用の削減と平準化を図る必要がある。</p> <p>中央公民館については、教育委員会の分室や図書館、各種社会教育活動等の会場として多数の来館者があり、その駐車場についても非常に使用頻度が高い状況にあり、来館者の安全確保のために、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>近年、特に使用頻度の高いバス車庫前付近において、経年劣化により損耗が進行しており、ひび割れや陥没等、来館者の安全確保に支障が出つつある状況であり、早急な改善が望まれている。</p>								
事業概要	<p>中央公民館駐車場の特に使用頻度の高いバス車庫前付近において、経年劣化により損耗が進行しており、ひび割れや陥没等、来館者の安全確保に支障が出つつある状況であるため、早急な対応が望まれているところである。</p> <p>また、これを放置すればひび割れや陥没が拡大し、修繕費用がさらに膨らむ恐れがあるため、早急に舗装修繕工事を行うものとする。</p>								
期待される事業効果等	<p>中央公民館は、教育委員会の分室や図書館、各種社会教育活動等の会場として今後ますますの利用が見込まれるため、その駐車場については、来館者の安全確保の観点から、適切な維持管理・長寿命化対策が必要とされているところである。</p> <p>今回の修繕により、事故等を未然に防止し、来館者の安全・安心の確保を図ることができる。</p> <p>併せて、できるだけ早期に修繕することにより、老朽化の進行を防止し、施設の長寿命化を図り、修繕費等の維持経費の軽減につなげることができる。</p> <p>また、来館者が安心して施設を利用することができるようになることで施設利用者の増加が期待され、教育環境の向上や社会教育事業の活発化により、総合計画の掲げる「人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち」の実現に資するものである。</p>								
事業実績									
取組状況	中央公民館駐車場については経年劣化により損耗が進行しており、ひび割れや陥没等、来館者の安全確保に支障が出つつある状況であり、これを放置すればひび割れや陥没が拡大し、修繕費用がさらに膨らむ恐れがあるため、早急に舗装修繕工事を行った。								
主な実績数値 (出来高数値等)	実績額 4,798千円								
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)			修繕により、施設機能の維持・向上を図ることができたため。併せて、老朽化の進行を防止し、維持経費の軽減につなげることができるものと見込まれる。				
計画数値の内容	施設維持修繕経費								
年度	23	24	25	26	27	-	-	-	-
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	0	0	0	0	6,237				
本事業の実績額(b)	4,798	0	0	0	0				
行革効果(a)-(b)	▲ 4,798	0	0	0	6,237				

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 京丹波町(京都中部広域消防組合)

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目						
広域連携事業支援	投資改革	消防緊急通信指令システム部分更新(実施設計業務)						
事業着手前								
課題・現状	平成19年度及び平成22年度に更新・追加した装置を除き、機器の老朽化が著しく、修理部品の供給停止や保守対応期間の終了により、メンテナンス(専門業者による)が受けられない状況となっており、機能維持が困難となっています。							
事業概要	平成19年度及び平成22年度に更新・追加した装置を除いた、個別装置の更新及び関係機器の追加整備により、災害地点を迅速確実に把握し、各隊の現場到着時間の短縮を図り、災害活動時の情報支援体制の充実を図るための新システムの設計業務を行います。							
期待される事業効果等	新システムを設計し、次年度の更新整備により、安定したシステム運用が確立され、住民等からの災害報の受信に万全を期すことができ、消防行政サービスの向上が期待できます。また、各種災害発生時の有事即応体制及び情報支援体制の確立に効果を発揮できます。							
事業実績								
取組状況	平成23年6月20日業務委託契約、平成24年2月29日設計書完成							
主な実績数値 (出来高数値等)	実施設計業務契約金額 4,059,300円 京丹波町分(経常負担金率で按分13.78%) 559,372円							
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)		新システムを構築するための設計が完了し、次年度のシステム更新の事前準備が完了した。				
計画数値の内容	実施設計業務に係る事業費							
年度	23							
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	4,059							
本事業の実績額(b)	559							
行革効果(a)-(b)	3,500							

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【緊急公債費支援（一般会計） 個別表】

事業分類		改革項目	事業名・実施項目						
緊急公債費支援		投資改革	公債費抑制対策(一般会計)						
課題・現状		繰上償還や新規発行債の抑制により地方債残高の減少に努めてきたが、本町の歳入は合併特例期間によって一時的に増加している普通交付税に大きく依存しており、合併特例期間終了後においても健全な行財政運営を実現するためには、さらなる公債費の抑制対策が必要である。							
事業概要		公債費負担の適正管理を行うとともに、行財政改革の取組を着実に進め、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の向上と成果指標の達成を図り、もって持続的・安定的な行財政運営を推進する。							
成果指標達成状況に対する自己評価		平成23年度については、概ね成果指標を達成したところである。しかしながら、本町の歳入が普通交付税に大きく依存しているという現状において、健全な行財政運営を実現するためには、さらなる公債費の抑制対策が必要であると考えている。							
成果指標達成状況(単位:人、百万円)									
項 目			H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	合 計
実質公債費比率	計画数値	決算数値	17.0	15.6	15.4	16.0	16.3	16.2	▲ 0.8
		効果数値		▲ 1.4	▲ 0.2	0.6	0.3	▲ 0.1	
	実績数値	決算数値	17.0	15.3					▲ 1.7
		効果数値		▲ 1.7					
地方債残高	臨時財政対策債含む	計画数値	15,163	14,595	14,740	14,832	14,839	14,721	▲ 442
		決算数値	15,163	14,413					
		効果数値		▲ 568	145	92	7	▲ 118	
		効果数値		▲ 750				▲ 750	
	臨時財政対策債除く	計画数値	11,036	10,181	10,061	9,915	9,721	9,433	▲ 1,603
		決算数値	11,036	10,000					
		効果数値		▲ 855	▲ 120	▲ 146	▲ 194	▲ 288	
		効果数値		▲ 1,036				▲ 1,036	
地方債発行額	臨時財政対策債含む	計画数値	1,169	877	1,643	1,464	1,409	1,165	▲ 4
		決算数値	1,169	822					
		効果数値		▲ 292	766	▲ 179	▲ 55	▲ 244	
		効果数値		▲ 347				▲ 347	
	臨時財政対策債除く	計画数値	503	417	1,183	1,004	949	706	203
		決算数値	503	363					
		効果数値		▲ 86	766	▲ 179	▲ 55	▲ 243	
		効果数値		▲ 140				▲ 140	
一部事務組合の地方債発行額のうち、当該団体負担分(発行額×負担割合)	計画数値	決算数値							0
		効果数値		0	0	0	0	0	
	実績数値	決算数値							0
		効果数値		0	0	0	0	0	
公債費	臨時財政対策債含む	計画数値	1,809	1,730	1,702	1,591	1,638	1,534	▲ 275
		決算数値	1,809	1,726					
		効果数値		▲ 79	▲ 28	▲ 111	47	▲ 104	
		効果数値		▲ 83				▲ 83	
	臨時財政対策債除く	計画数値	1,609	1,505	1,450	1,303	1,305	1,162	▲ 447
		決算数値	1,609	1,501					
		効果数値		▲ 104	▲ 55	▲ 147	2	▲ 143	
		効果数値		▲ 108				▲ 108	
一部事務組合への負担金のうち公債費に充てる額	計画数値	決算数値	62	78	78	78	78	78	16
		効果数値		16	0	0	0	0	
	実績数値	決算数値	62	45					▲ 17
		効果数値		▲ 17					

※ 欄が不足する場合は適宜追加願います。

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名 京丹波町

2. 平成23年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【緊急公債費支援（公営企業） 個別表】

事業分類	改革項目	事業名・実施項目								
緊急公債費支援	投資改革	公債費抑制対策(公営企業(下水道事業)会計)								
課題・現状	本町は面積の大部分を森林が占めており、その中に集落が点在していることから、集合処理事業においてイニシャルコストが高く、国庫補助等で補えない部分については地方債で賄うこととなり、公債費残高が増嵩せざるを得ない状況にある。また公債費償還金の財源は、一般会計からの基準外繰出に依存していることから、公債費抑制対策が強く求められているところである。									
事業概要	これまでの取組みにおいては、繰上償還や新規発行債の抑制、料金体系の見直し等による事業収支の改善により、公債費残高と一般会計繰出の抑制を図ってきた。今後においても、公債費抑制対策に加え、経営健全化の取組を着実にを行うことにより、下記成果指標の達成を図り、もって持続的・安定的な公営企業の運営を推進していく。									
成果指標達成状況に対する自己評価	平成23年度については、概ね成果指標を達成したところである。しかしながら、厳しい財政状況にある一般会計からの基準外繰出に依存している現状において、健全な公営企業の運営を実現するためには、さらなる公債費の抑制対策が必要であると考えている。									
成果指標達成状況(単位:人、百万円)										
項 目			H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	合 計	
実質公債費比率(一般会計)	計画数値	決算数値	17.0	15.6	15.4	16.0	16.3	16.2	▲ 0.8	
		効果数値		▲ 1.4	▲ 0.2	0.6	0.3	▲ 0.1	▲ 0.8	
	実績数値	決算数値	17.0	15.3						▲ 1.7
		効果数値		▲ 1.7						▲ 1.7
資金不足比率(地方財政法上)	計画数値	決算数値							0	
		効果数値		0	0	0	0	0	0	
	実績数値	決算数値								0
		効果数値		0	0	0	0	0	0	0
企業債残高	計画数値	決算数値	7,920	7,283	6,864	6,633	6,332	6,092	▲ 1,829	
		効果数値		▲ 637	▲ 419	▲ 231	▲ 301	▲ 240	▲ 1,829	
	実績数値	決算数値	7,920	7,284						▲ 636
		効果数値		▲ 636		0	0	0	0	▲ 636
企業債発行額	計画数値	決算数値	194	193	183	176	173	148	▲ 47	
		効果数値		▲ 1	▲ 10	▲ 7	▲ 2	▲ 26	▲ 47	
	実績数値	決算数値	194	193						▲ 1
		効果数値		▲ 1						▲ 1
企業債償還金	計画数値	決算数値	580	581	578	560	546	544	▲ 36	
		効果数値		0	▲ 3	▲ 18	▲ 14	▲ 2	▲ 36	
	実績数値	決算数値	580	581						1
		効果数値		1						1

※ 欄が不足する場合は適宜追加願います。